

第22回写真「1\_WALL」グランプリ受賞者個展

## 伊藤安鐘展「眼(まなこ)開きて尚、現(うつつ)を見ず」

2021年3月2日(火)～ 3月27日(土) 11:00a.m.～7:00p.m. 日曜・祝日休館 入場無料 主催・会場:ガーディアン・ガーデン

トークイベント<オンライン配信> | 参加無料・要予約 詳細はウェブサイトへ <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

2021年3月10日(水) 7:10p.m.～8:40p.m. 野口里佳(写真家)×伊藤安鐘 「写真は『リアル』なのか」



伊藤安鐘は、自身にとっての理想郷を探して週末に撮影した作品「終(週)末ユートピア紀行」で、第22回写真「1\_WALL」グランプリを獲得しました。セルフポートレートや風景写真を中心に、実在する場所を非現実的な世界のように写した作品では、展示を通して、理想郷を探す“私”がそこで待つもう一人の“私”に出会うという物語が展開します。審査員からは、自身の思い描く世界を第三者的視点で表現する展示の構成力や、週末の撮影やセルフポートレートといった要素をテーマと結びつけ展開する力が評価されました。

荒涼とした大地や、日の光を反射する水面、風になびく植物など、伊藤は現実世界にカメラを向けながら、その先に、自身の思い描く理想郷を重ねて撮影しています。それは、意識の内側にある自分にしか見られない世界を、写真によって、視覚的に明らかにしようとする試みともいえます。

個展では、“私”が探し出した理想郷に深く入り込んで見た世界を、作品を通して表現します。写真のほか、映像やペインティングと組み合わせた新作など、異なる技法を展示に取り入れ、伊藤の描く世界を多角的に表します。受賞から約一年後の個展を、ぜひご覧ください。

取材や広報用画像をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

株式会社リクルートホールディングス リクルートクリエイティブセンター

ガーディアン・ガーデン

担当：桑間(c\_kuwama@r.recruit.co.jp)

〒104-8227 東京都中央区銀座 7-3-5 ヒューリック銀座 7丁目ビル B1F

TEL.03-6835-2270 <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

Twitter | @guardiangarden

Facebook | facebook.com/guardiangarden.tokyo

Instagram | guardian\_garden

### <作家ステートメント>

幼い頃は、目を開けてもなお幻想が見えた。

隣で寝ている父親の背中に当時好きだったキャンディの形を模したチーズが転がっていたり、頭上を十二支の動物たちがキラキラと揺らめき歩いていたりした。こんな話をしても母親にすら信じてもらえないだろうと思い、誰にも話さずにいたがその幻想はとても不安定で集中力をたえず働かせていないと消えてしまいそうなものだった。(絶対に覚えておこうと思っていたおかげで今こうして文章になっている。)

そしてそんな現実の記憶はどこまで確かであるのだろうか。

どこまでを現実とするのだろうか。

ある時は、夢で見たものと非常に似ている景色と出会ってどちらが現実なのか分からなくなった。

歪みの中に入った気分であった。

私たちの脳ミソは実は出来が良なくて完璧な修理もできない。

記憶下の日々は退色していく。

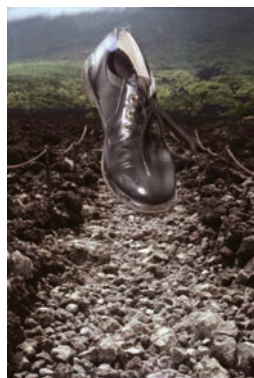
目の前の景色を留めておきたいから、あるいは記録として写真を撮ると言う人が世の大半であろうが、私はもう一つの世界として収めたいと思っている。要するに先に挙げたような無意識下で作られた世界を撮りたいのである。

この景色が見られるのは私しかない。

ならば記憶から消えてしまう前に残すべきだろう。

伊藤安鐘

広報用画像一覧



伊藤安鐘 Akane Ito

1996年岩手県生まれ。武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業。

2019年 SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN 入選

2020年 第22回写真「1\_WALL」グランプリ

ギャラリー入口で体温測定、手指消毒、マスク着用にご協力をお願いします。ご来場者様同士の社会的距離2mを確保いただき、37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛、全身倦怠感などの症状がある方は来場をお控えください。来場者多数の場合は入場制限を行うことがあります。